

# 資料編

## 用語解説

頭文字	用語	説明
あ	あんしんセンター	区社会福祉協議会が区内に在住する判断能力が不十分な高齢者や障がい者が安心して生活できるよう権利擁護に関わる相談を受ける事業。内容は権利擁護(①相談②福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス③財産関係書類等預かりサービス)
い	委嘱委員	さまざまな法令に基づき、国所管省庁大臣、市長から委嘱を受ける特別職の非常勤公務員。民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、消費生活推進員、環境事業推進委員、スポーツ推進委員、青少年指導員など
	インフォーマルサービス	家族成員、親戚、友人、同僚、近隣、ボランティアのような、明確に制度化していない当事者組織や相互扶助団体等のサービス
え	NPO法人	「NPO」とは「Non Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称。このうち、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人を、「特定非営利活動法人(NPO法人)」という。
お	「おでかけGO!港北」	港北区社会福祉協議会が行う障がいのある方の外出を支援するサービスについての相談・情報提供事業
	親と子のつどいの広場	未就学のお子さんと保護者が一緒に過ごせる場所。マンションの一室や商店街の一角などで、NPO法人などの市民活動団体が運営。親同士の交流、情報提供、子育ての相談などを行う。
か	外出支援地域交通 (福祉有償運送)	ひとりでは公共交通機関を利用して移動することが困難な方を対象とした、NPO法人などが有償で行う会員制の運送サービス
き	協働	公共的サービスを担う異なる主体が、地域課題や社会的な課題を解決するために、相乗効果をあげながら、新たな仕組みや事業を創り出したり、取り組むこと。
く	区民活動支援センター	さまざまな分野の市民活動、ボランティア活動を応援する拠点。市民活動に関する相談の受付、資料や情報の提供、会議室等の提供などを行っている。
	グループホーム	障がい者や認知症高齢者などが地域の中で共同生活をすることで、自立した生活を実現していく施設
け	元気づくりステーション	高齢者が身近な場所で主体的に介護予防に取り組むグループ活動事業。グループの立ち上げ・継続を区役所、地域包括支援センターが支援する。運動機能の向上や歯と口の健康増進、栄養改善、認知症予防などの活動がある。

頭文字	用語	説明
け	健康横浜21	健康増進法に基づく「市町村健康増進計画」であり、国が進める「健康日本21（第2次）」の地方計画。現在第2期計画(平成25年度～34年度)ですべての市民を対象に乳幼児期から高齢期まで継続して、生活習慣の改善や、生活習慣病の重症化予防に取り組むことで、健康寿命を延ばすことを目標とする。
こ	港北区災害ボランティア連絡会	台風等による風水害や地震、津波などの災害が発生した場合に被災地で支援活動を行うボランティアの連絡調整組織
	ココマップ	0～6歳までのお子さんとその家族を応援するホームページサイト。外遊び、仲間づくり、一時預かり、おはなし会などの情報を掲載する。紙版も発行している。(ホームページからダウンロード可)
	孤食	一人で食事を取ること。特に食事の際に孤独を感じてしまう「寂しい食事」のこと。食事内容の劣化など、食生活全体が健康や心身の成長に悪影響を及ぼすことが懸念されている。
	横浜市子ども・子育て支援事業計画	平成24年8月に成立した法律(子ども・子育て関連3法)に基づき、平成27年4月から施行された「子ども・子育て支援新制度」において各市町村が様々な子ども・子育て家庭の状況や各事業の利用状況・利用希望を把握する5年を1期とする子ども・子育て支援事業計画
	コミュニティレストラン	「おいしく食べて、楽しく働く、くつろぎの場」をコンセプトとする、地域で安全で安心できる食事を提供しながら、市民が集まり、交流する場
さ	災害時要援護者支援事業	高齢者、障がい児・者、乳幼児など、必要な情報を迅速かつ正確に把握できず、災害から自らを守るために、安全な場所に避難するなどの一連の行動をとるのに支援を要する方々について、平常時から、名簿の整備により、災害時の助け合いに役立てていただき、被害を最小限に食い止めていこうとする事業
	サロン (子育て・高齢者・異世代)	高齢者や障がい児・者、子育て中の方などが、地域の人同士のつながりを深める自主活動の場
し	社会資源	人々のニーズを充足したり、問題解決の目的に使われる各種の施設、制度、機関、知識や技術などの物的、人的資源の総称
	障がい児余暇支援	障がい児の地域生活(特に放課後・学校休業日の生活)の安定とその余暇活動の充実、家族の精神的・身体的負担の軽減を目的とした支援活動
	社会福祉協議会 (地区・区・市)	社会福祉法第109条に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的に全国・都道府県・市区町村のそれぞれに組織されている。民間としての「自主性」と広く住民や社会福祉関係者に支えられる「公共性」という二つの側面を併せ持った組織であり、横浜市においては、①社会福祉法人として専任職員と事務局を持つ市社会福祉協議会及び18の区社会福祉協議会②住民主体の任意団体でおおむね連合町内会エリアで活動する地区社会福祉協議会がある。



頭文字	用語	説明
し	食育	健康的な生活を送るために、食に関するあらゆる知識を育むこと
	食生活等改善推進員	「実践しましょう 健康づくり」を合言葉に、食を通じて地域での仲間づくりをしながら、栄養・運動・休養の三本柱を中心に子どもから大人までの食育活動を行っている。
せ	生活困窮者自立支援制度	平成27年4月から開始した生活保護には至らないが何らかの生活困窮状態にある方を対象として、現状の課題を整理し、支援計画を立て、計画に沿って就労支援などの支援を、包括的、継続的に行う制度
	生活福祉資金	低所得者、障がい者、高齢者等世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした制度
	生産年齢人口	国内で行われている生産活動に就いている中核の労働力となるような年齢の人口で、日本では15歳以上65歳未満の年齢に該当する人口が生産年齢人口にあたる。
	善意銀行	善意の寄付を区社会福祉協議会で預託(寄付)として預かり、区内の当事者団体、社会福祉施設、地域福祉活動団体などに配分することにより、善意を広げてゆく事業
ち	地域ケア会議	地域包括ケアシステムを実現するため、高齢者個人に対する支援をより充実するよう医療、福祉、介護等の多職種による専門的視点を交えて、ケアマネジメントの質の向上を図り、個別課題を解決すると同時に地域課題を明らかにして、必要な資源開発や地域づくりにつなげていくことを目標とする手法
	地域資源	地域で生産、生成された「流動資源」も含め、「地域内に存在する資源であり、地域内の活動に利用可能な(あるいは利用されている)、人・物・組織・サービス・情報などの有形、無形のあらゆる要素
	地域たすけあい型ボランティア活動	地域住民と高齢者が相互扶助により支えあいながら、明るい町づくりを目指す有償の家事援助や外出支援などのボランティア活動。買い物、掃除、洗濯、草取り、ゴミ出し、見守りなどを行う。
	地域包括ケアシステム	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制
	地縁組織	自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、保健活動推進委員会など、地域単位でつくられている組織や地縁によって成り立っている組織。団体が構成される範囲を活動エリアにしている。
て	テーマ型活動	子育て支援団体、障がい者・高齢者等の支援団体や当事者団体、福祉や介護、環境保護といった特定のテーマで活動する団体・グループ・NPO法人など。目的や活動分野をテーマに沿って絞り、小地域から市域以上まで様々なエリアで活動に取り組んでいる。

頭文字	用語	説明
に	認知症カフェ	認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場として、地域での日常生活・家族支援の強化に向けた取組のひとつ
	認知症サポーター	認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者。養成講座を受講した人は、認知症を支援する「目印」として、プレスレット(オレンジリング)をつけ、友人や家族にその知識を伝えるなどそれぞれができる範囲で活動
	認知症徘徊高齢者見守りネットワーク	認知症高齢者の方が徘徊により、行方不明になった場合に、できるだけ早く発見、保護するための連絡通報の体制
ひ	PDCAサイクル	事業活動における管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。
	ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業	民生委員に対して75歳以上のひとり暮らし高齢者の情報を提供することにより、支援を要する人を効果的に把握できるよう支援し、把握した状況に応じて、相談支援や地域における見守り活動等につなげられるよう、民生委員・地域包括支援センター・区福祉保健センターが連携して取り組む事業
ふ	プレイパーク	地域の中で、地域活動・ボランティアを中心とした住民・団体が中心となって、地域の子どもたちを健全に育てる活動。趣旨に賛同する個人・団体の誰もが、無料で自由に利用できる。
ぼ	ほくほくフェスタ(社会福祉大会)	地域福祉保健計画の推進や周知を図るため、区民フォーラム、パネル展示や区民・団体などの福祉保健活動に対する表彰を行う社会福祉大会などを主な内容とする港北区における「福祉保健のおまつり」
	保健活動推進員	地域における健康づくりの推進役として、生活習慣病予防などの健康づくり活動や各地域での体力測定、ウォーキングなどの活動を行っている。自治会町内会から選出され、市長が委嘱している。
	ボランティアセンター	個人や団体を対象としたボランティア・市民活動に関する総合的な相談窓口。ボランティアのコーディネートや活動上の相談への対応などを行っている。
み	民生委員・児童委員	民生委員は、自治会町内会等の代表で構成される地区推薦準備会で推薦され、厚生労働大臣の委嘱を受けて、それぞれ担当する区域内で、地域福祉増進のための幅広い活動を行っている。また、行政機関の業務に対する協力も職務のひとつとなっている。民生委員は児童委員を兼務しているため、一人の民生委員を「民生委員・児童委員」と呼んでいる。 児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行う。 主任児童委員とは、児童委員の中から選任され、児童福祉に関する事項を専門的に担当する、民生委員・児童委員



頭文字	用語	説明
み	みんなの居場所	子どもからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる場として、港北区社会福祉協議会が運営を支援する地域交流の拠点事業
	みんなの助成金	より豊かな地域社会の実現のために、市民の自発性のもと、区内もしくは横浜市内で行われている非営利な地域福祉推進事業や障がい福祉推進事業を支援するために区社会福祉協議会が実施する助成金制度
よ	要援護者移送サービス事業	外出が困難な高齢者、身体障がい児・者などの要援護者に対して、在宅生活での自立を支援するための移送サービス事業。
	横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	高齢者に関する各種の保健福祉事業や介護保険制度の円滑な実施に関する総合的な計画として、取り組む課題を明らかにし、目標等を定めたもの。平成27年度から第6期計画に取り組んでいる。
	横浜市障害者プラン	障害者基本法に基づく、横浜市における障害者に関する施策の方向性等を定める基本的な計画である「障害者計画」と、障害者総合支援法に基づき、障害福祉におけるサービスごとに、必要な利用の見込み量を定め、その円滑な実施の確保を進めていくことを定める「障害福祉計画」の二つの性質を持つ計画。平成27年度から計画期間を6年間とする第3期計画に取り組んでいる。
	横浜市中期4か年計画 2014～2017	横浜の未来を切り拓いていくため根幹となる政策の方向性を共有することにより、あらゆる方々の知恵や力の結集、様々な主体との協働などを通して、オール横浜で「横浜基本構想(長期ビジョン)」の実現を目指していくための計画
	寄り添い型学習等支援	支援を必要とする家庭に育つ小・中学生に対し、生まれ育った環境によって将来が左右されることなく、自立した生活を送れるよう、児童・生徒に寄り添いつつ、学習支援する活動
ら	ライフライン	主にエネルギー施設、水供給施設、交通施設、情報施設など、生活に必須なインフラ設備
ろ	老人クラブ	地域を基盤とする高齢者の自主的な組織。仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、「生活を豊かにする楽しい活動」を行い、その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、「地域を豊かにする社会活動」に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めている。会員は概ね60歳以上

# 「ひっとプラン港北」 策定・推進委員会、同検討部会委員名簿

## ●「ひっとプラン港北」策定・推進委員会

平成28年3月現在(五十音順 敬称略)

氏名	所属
いずみ としまさ 和泉 利政	港北区連合町内会会長
いのうえ まさと 井上 雅人	下田地域ケアプラザ所長
うつみ ひろし 内海 宏	(株)地域計画研究所 所長
さかい まつお 酒井 松雄	港北区老人クラブ連合会会長
しのざき ちとひこ 篠崎 元彦	港北区社会福祉協議会地区社会福祉協議会分科会副会長
すずき けいし 鈴木 啓史	NPO法人ウィル副代表
ないとう えいじ 内藤 英二	港北区医師会会長
はら みき 原 美紀	NPO法人びーのびーの事務局長
ふくまつ みよこ 福松 美代子	港北区保健活動推進委員会会長
ほんだ かずのり 本田 和徳	しんよこはま地域活動ホーム所長
みやた みつあき 宮田 光明	港北区民生委員児童委員協議会会長
むらの あけみ 村野 明美	港北区ボランティア連絡会会長

## ●「ひっとプラン港北」策定・推進委員会 検討部会

平成27年4月～6月(五十音順 敬称略)

氏名	所属
いとう ひろこ 伊藤 弘子	菊名訪問看護ステーション
いのうえ まさと 井上 雅人	下田地域ケアプラザ所長
かのう ひでとし 和 秀俊	田園調布学園大学人間福祉学部講師
たなか あきこ 田中 煌子	大倉山ふれあいクラブ代表(高齢者への家事支援)
はまだ しょうじ 浜田 正二	城郷地区社会福祉協議会事務局長
ふくまつ みよこ 福松 美代子	港北区保健活動推進委員会会長
ほんだ かずのり 本田 和徳	しんよこはま地域活動ホーム所長
みやた みつあき 宮田 光明	港北区民生委員児童委員協議会会長
やましな れいこ 山科 礼子	港北区主任児童委員代表
わたひき たつひと 綿引 達人	精神保健福祉ボランティアグループあみネット代表

※「ひっとプラン港北」策定・推進委員会委員との重複者を含む



### 横浜市港北区役所 福祉保健課 事業企画担当

〒222-0032  
横浜市港北区大豆戸町 26-1  
TEL 045-540-2360  
FAX 045-540-2368  
E-mail [ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp](mailto:ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp)  
HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/fukuho/fukuhokeikaku.html>

### 社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会

〒222-0032  
横浜市港北区大豆戸町 13-1 吉田ビル 206  
TEL 045-547-2324  
FAX 045-531-9561  
E-mail [info@kouhoku-shakyo.jp](mailto:info@kouhoku-shakyo.jp)  
HP <http://www.kouhoku-shakyo.jp>